

## 町民のスポーツ振興の場に

# 奥出雲よこた グラウンド・ゴルフ場 オープン



▲オープンを記念しテープカット

横田地区野呂山の総合農場敷地に隣接して整備が進められていた奥出雲よこたグラウンド・ゴルフ場が完成し九月二十八日、開場式が行われました。

このグラウンド・ゴルフ場は、地域内に工場等を新増設した場合、床面積に応じて国から補助金が交付される工業再配置促進法を活用し、ホシザキ電機(株)横田工場の協力を

受け整備したものです。式には山下助役、福本副議長、ホシザキ電機の岩城良行総務グループリーダーなどが

三十名が出席し、オープンを祝いました。

総事業費は約九千二百万円で、施設内には天然芝のグラウンド・ゴルフコースが十六ホール、休憩室を備えた管理棟などがあります。

近年、グラウンド・ゴルフ競技は愛好者が増えており、今後このグラウンド・ゴルフ場も町民のスポーツレクリエーション、健康増進の場としての活用はもとより、本町の交流人口の増加にも寄与するものと期待されます。

いつまでもお元気で

## 長寿を祝い町から記念品を贈呈

敬老の日を祝い九月十五日、岩田町長と雲南保健所総務保健部の藤原享逸部長が町内の満百歳をお迎えになる五名のお宅を訪問し、記念品を贈り長寿を祝福しました。

今年度中に満百歳をお迎えになる、植田ヨシノさん、大塚恵美子さん、小田川鶴子さん、酒井キクヨさん、福田ムメヨさんに、内閣総理大臣からの銀杯が伝

えになる。植田ヨシノさん、大塚恵美子さん、小田川鶴子さん、酒井キクヨさん、福田ムメヨさんに、内閣総理大臣からの銀杯が伝

達され、県知事、町からはお祝いの書状と記念品が贈られました。

町長は「ご長寿おめでとうございます。これからもお体に気をつけ、もっと長生きしてください」との言葉をかけ、長寿を祝いました。



▲100歳おめでとうございます(写真は植田ヨシノさん宅にて)

## 雨のなか頑張りました

# 一味同心塾で稲刈り体験交流



▶体験交流の様子

料理研究家中村成子先生が館長を務める一味同心塾の田んぼでは、ボランティアの仁多米作り実行委員会(委員長 藤原信夫他二十五名)を中心に九月十四日、稲刈り体験交流が行なわれました。

今年五月に田植えを行い、農薬や化学肥料を使わない昔ながらの米作りに取り組んで、これまで草取りなど田んぼの管理を行ってきました。

当日はあいにくの雨でしたが、町内はもとより、海士町からの参加者、島根大学の学生、中山間地の農業を学ぶため奥出雲町に研修に来

ている農林水産省の職員など約六十名が参加しました。参加者は鎌やバインダーを使って稲を刈り、田んぼに作られた七段二十間の立派なハデに稲を掛けていき

ました。今年は、天候に恵まれ久々の豊作ということでした。参加者からは「来年もぜひ参加したい」、「米作りがきっかけで、仲間が出来て嬉しい」などの声が聞かれました。

稲刈りを通じて様々な地域の幅広い年代の人が交流し、親睦を深め、一緒に汗を流す喜びを味わった体験交流になりました。